

“Changing Tomorrow Day”

—世界のアステラスグループが“企業市民活動”

アステラス製薬は、企業行動憲章で「良き企業市民として、社会貢献活動を積極的に行う」ことを表明し、「社会」における具体的な活動として社会貢献活動を位置づけている。その活動の1つに、全世界のアステラスグループで展開している“Changing Tomorrow Day”（以下“CT Day”）がある。

新生アステラスの取り組み

山之内製薬・藤沢薬品両社の合併により2005年に誕生したアステラスは、2010年4月1日で誕生5周年を迎えた。これを記念し全社共通の取り組みとして企画したのが、“CT Day”である。このアイデアはアメリカの社員から提案されたものだが、以下の3つを目的に世界で取り組むことにした。

- ①合併後のより一層の一体感を醸成するため、世界のアステラスグループが参加できる統一したCSRイベントを推進する。
- ②地域社会の貢献につながる活動をすることで社員は自分の会社に誇りを持って、モラルアップにつながる。
- ③社会貢献活動の積極的推進により企業の社会性を高め、誕生5年の“アステラス製薬”の知名度と企業評価の向上につなげる。

“CT Day”は、「健康」や「環境」をテーマとするボランティア活動である。世界の取り組みの中からその一部を紹介する。

イギリス：子どもたちと料理教室

イギリスでは、2010年10月、アステラス ファーマ ヨーロッパ Ltd. (APEL) の社員たちが、ボラ



みんなでつくった料理を手に笑顔がいっぱい（イギリス）

料理教室でAPEL・ジョーンズCOO(当時)も子どもたちと交流（イギリス）

ンティア活動のためにミドルセックスのステインにあるバックランド小学校を訪れ、教室や庭の清掃、整備を行った。そして、リサイクルショップの飾り付けをするとともに、子どもたちを対象に「健康的な食事と料理」という、“健康”を願うアステラスらしいテーマでの料理教室を実施した。

最高執行責任者ケン・ジョーンズ（現社長）も参加した料理教室では、和気あいあいとした雰囲気の中で先生役の社員も楽しみながら、自分たちで考えたメニューを子どもたちに教えた。ボランティア活動に参加した社員からは、「小さい子どもたちに料理を教えることは楽しく、自分自身の励みになり刺激にもなった。一緒につくったリークスープやポテトスープはとてもおいしく、子どもたちも喜んでくれた。“CT Day”をきっかけに地域貢献ができ、とてもうれしい。これからもぜひ参加したい」という感想が寄せられている。

サリー州にあるミーズ小学校は、言語やコミュニケーションにハンディを持つ子どもたちのための



APEL・吉田社長(当時)は自らペンキ塗り（イギリス）

特別学校。ここにも APEL のボランティアメンバーの3つのグループが3日間にわたり訪れ、教室のペンキ塗りやグラウンド改修作業のお手伝いをした。“CT Day”には吉田社長（当時、現アステラスファーマ US, Inc 社長）も参加し、子どもたちと交流をしながらペンキ塗りに汗を流した。参加した社員からは、社会貢献をした充実感が得られたとの声が上がった。

台湾：福祉施設で生活補助など

台湾では、台湾アステラス製薬股份有限公司の社員が2010年9月に福祉施設の財団法人 Eden Social Welfare を訪れ、目や耳が不自由な方々の日常生活の補助手伝いや、昼食のお世話、新聞の読み書きせなどのボランティア活動を行っている。また当日は、施設に入所している皆さんの健康を願って、「睡眠と健康」というテーマでマーケティング部の Shu-Shen Wu さんが講話をし、たくさんの方が真剣に耳を傾けてくれた。

この活動を企画した CSR 担当者からは、「台湾アステラスは、このボランティア活動を通し、製薬会社として専門分野を活かした社会貢献ができました。アステラス社員が“明日は変えられる”のモットーおよび CSR の重要性を忘れず、さまざまな機会を通して“明日を変える”行動をすることを期待しています」とのメッセージが寄せられている。

日本：地域清掃活動に皆で参加

日本全国の事業所でも“CT Day”が展開されている。

東京・日本橋の本社事業場では中央区の〈緑のアダプト制度〉に登録し、堀留児童公園の花の植え替えや日常の水やりなどの花壇管理を行って



花の植え替えをする本社社員
(左は野木森社長)



ちびっこの実験体験 (筑波研究センター)

る。2010年10月1日の活動には34名が参加し花の植え替えをしたが、同時に実施した地域清掃活動には218名の社員が参加し、燃えるゴミ25.4kg、燃えないゴミ24.2kgを集め地域美化に貢献した。

筑波事業場では、2010年8月のつくば市・つくば市教育委員会主催『つくばちびっ子博士2010』に参画。つくば市近郊の小中学生を対象に、つくば研究センターで「わかりやすいくすりの話」と見学会、実験体験を行った。社員で創意工夫した企画を通してちびっ子と交流したこのイベントには保護者を含めて約100人が参加し、大変好評であった。

*

取り組み事例の一部を紹介したが、南北アメリカでは1,300人以上が参加するなど、世界中のアステラスグループ社員が“CT Day”に参加し、2010年11月末現在の参加人数は7,700人に上っている。

アステラスグループでは、製薬企業としての特徴を活かしながら、グループ共通のスローガン「明日は変えられる」を実現すべく、今後もこの活動を継続していきたいと考えている。

(本誌編集部 間島輝利)

※写真提供：アステラス製薬 CSR 室



講演会に参加された福祉施設の皆さん(台湾)

◆アステラス製薬の社会貢献活動

<http://www.astellas.com/jp/csr/community/>